

加西ふるさと夏ミーティング 2012 質問等一覧

校区名		開催日時・場所	参加者数	
日吉小学校区		6月27日(水) 18:00 ~ 20:20 北部公民館	1部:20人 2部:20人 合計:40名	
第1部				
No	第5次総合計画 施策分類	意見概要	市の回答など	
			回答者	内容
1	健全な行財政運営の 確立	この地域の人口の資料の数字は、死亡等も反映されているのか。転出転入の人数を把握しているのか。	ふるさと創造課長	住民基本台帳上で、生まれた子の数です。増減は反映していません。転出転入先については、調査している。
2	地域の豊かさと元気を 取り戻す産業づくり	18歳と23歳の人口の増減を把握することで、加西市に就職しているかどうかわかるのではないかと。子供を生む世代を増やすのか、加西市に住む人を増やすのかどちらを目指すのか。就職先が無いから加西に帰ってこないのかも。加西に住宅団地ができるといいのではないかと。	ふるさと創造部長	土地利用が難しいのは、加西市だけではない。区画整理地の土地の流動化が進まない。調整区域では、特別指定区域制度を利用し、新規居住者区域を宇仁地区で始めて設定した。宇仁で40戸程度建築可能となっている。日吉地区でも新しい制度への取り組みをしていただきたい。
3	都市の魅力と快適さを 高めるまちづくり	新規居住者区域は、既存の集落に入ることになるのか。	ふるさと創造部長	既存の集落の中で、新規居住者区域を選定しているので、既存の集落との付き合いが出てくる。土地があつて団地を開発すれば自治区ということも可能ではある。今までならば、土地を購入しようと思っても所有者の意思をまず確認しないとけなかったが、新規居住者区域の場合は、売買してもいいですよという意思表示がなされた区域なので、住むという意味であれば、話しやすいと思う。

4	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	新規居住者区域の所有者と購入希望者の間に市が入らないと難しいのではないかと。市内の不動産業者であれば、そこまで理解しているか怪しいため。		特に回答なし
5	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	加西市に子供を連れて行こうと思う公園が無い。小野に行く。加西では史跡公園が広くていいが遊具が無い。以前からある公園も遊具が古い。	教育長	史跡公園という名前から古墳を活かして、自然を楽しんでもらおうというコンセプトで作っている。これから、子供が楽しめる公園を考えていかないといけないと思っている。
6	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	公園などは指定管理者に管理をお願いしていると思うが、壊れたところなどをきちんと把握して、早く対応してもらえるようにしてほしい。	ふるさと創造部長	遊具が壊れる危険性があれば、設置者としては、怪我する前にその遊具を使用禁止にしてしまう。老朽化しているものをどう更新していくか考えている。
7	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	公園の整備は難しいと思うが、公民館の一部に遊具を設置してもらえないか。	副市長	可能だと思うが、市ですするというより、町内で話し合っけて設置してはどうか。町内で話し合いができる雰囲気作りが大事だと思っている。
8	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	通学路の道が狭い。拡幅は難しいと思うが、水路に蓋をして少しでも広さを確保できないか。	ふるさと創造部	小学校区単位で300万の予算を組んだ。地元とPTAとで、通学路の見直しと修繕箇所の優先順位をつけて、対応していきたいので、強力をお願いしたい。
第2部				
9	明日を担い未来へつなげる人づくり	加西の未婚率が高い。出会いの場を作って欲しい。	ふるさと創造部長	昨年の国勢調査の結果、県下でも加西市の未婚率が高い。人口増政策課を作り、その中で現在検討中。婚活事業を進めて行きたい。
10	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	通学路の整備について、今後の展望	ふるさと創造部長	通学路の調査は、ここ3～4年は実施していなかった為、今年、再度点検してもらいたい。今年、整備できなかったものを把握し、次年度以降の政策に反映させたい。

11	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	通学路の整備だけなのか、危険なのでマイクロバスを出すとか考えるのか。	ふるさと創造部長	用地買収はこの予算ではできませんので、側溝に蓋をすとかして、道路の整備をする。300万では、すべてできないと思っている。マイクロバスでの送迎をしている校区は無い。
12	身近な幸せを実感できる安全と安心の暮らしづくり	昨年の台風による災害が多く発生した。先日の台風では被害は出てないと思っている。対策の為に、北分署に12時ぐらいに取りに行くと、土嚢がなくなっていたので、もう少し多く確保しておいてほしい。	ふるさと創造部長	土嚢は2,000袋を常備。本署に1,000袋、各分署に500袋を配備している。土嚢が無くなれば、職員が作る体制を取り、在庫を確保するようにしている。また、各町で土の用意をお願いしたいといけませんが、土嚢袋は配布する準備をしているので、災害が発生する恐れがある町は事前で準備をお願いしたい。
13	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	近隣の市の小学校の1校あたりの児童数はわかるか。あと小学校の数。児童の数が少ないのであれば統廃合も視野に入れるのもいいのではないか。	市長	すぐにわからないので、明日回答します。学校のあり方委員会からの答申で、一定の基準を示している。複式学級(複数年の児童が一緒のクラスになること)になる恐れがあれば、統廃合を視野にいれて協議に入ることになる。市長としては、小学校区の思いは思っていたよりも強いと認識している。
14	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	加西インター周辺について、5年10年先のビジョンは。	市長	地元の区長を中心に熱心に活動されている。それは土地改良事業も話がでていいる。市街化区域に編入して、大規模な開発をしていきたい。現在の制度を使うのであれば、特別指定区域を利用して進めていきたい。加西市の玄関口としての整備をして欲しいという意見も多い。
15	郷土に誇りを持てる家庭・学校・地域の輪づくり	西脇市のほうが、人口が少ないのに、西脇高校には多く通っている。北条高校は生徒が少ない。例えば家政科が復活するなどあるのか。	市長	就任以来、北条高校については考えている。北条高校は、昨年は定員を割り、家政科も無くなってしまった。今の校長は、加西市に縁のある方になった。北条高校もいろんな取り組みを始めた。少しずつ変わっていくと信じているので、市民に北条高校に行かせようと思ってもらえるような環境にしていきたい。

16	都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	市道が傷んでいるので、4月に修繕の依頼をしたが、連絡がない。すぐに痛むので、根本的に修繕をお願いしたい。	市長	返事していないことは問題なので、すぐに連絡させていただきます。
----	--------------------	--	----	---------------------------------